

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

新潟県

学校名

北辰小学校

人権課題

子供

対象学年・  
取り扱った教科等

全学年

目標・人権  
教育の  
ねらい

自他の命を大切にすることを醸成すると同時に、様々な違いに関わらず一人一人がかけがえのない存在であることを理解を促し、いじめの未然防止を図る。

実施した  
内容

縦割り班清掃、縦割り班を活用した異学年交流の場を意図的に設定し、子供の同士の関わりを増やした。  
授業参観日には、「生きる」を活用した人権教育、同和教育の授業実践を行い、一人一人の個性や多様性を大切にしながら、保護者と関わりながら学級づくりを行った。  
9月6日(月)に十日町みなと法律事務所の弁護士、関雅夫様を講師として招聘し、「いじめ防止対策推進法の要点」について職員研修を行った。

工夫した点

縦割り班活動の内容を見直した。高学年の子供たちがグループの遊びを考えて、縦割り班のメンバーに提案するようにした。グループのメンバーのことを意識させることで、一人一人がかけがえのない存在であることへの理解を促すことができた。  
一人一人を大切にしながら、人権が尊重される学級づくりを全校体制で行った。  
具体的な法律をもとにして、いじめの定義や学校としての義務、具体的な重大事案について学ぶことができた。

他教科との  
関連

特別の教科道徳で、同和問題について学習した。

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

新潟県

学校名

南魚沼市立北辰小学校

人権課題

障害者

対象学年・  
取り扱った教科等

全学年

目標・人権教育のねらい

障害者問題についての知識を身に付け、障害に対する社会的支援や介護・福祉の問題について理解を深める。  
教職員の専門性や指導力の向上を図り、児童生徒一人一人の状態や能力及び適性等に応じた適切な指導や必要な支援の仕方が分かる。

実施した内容

8月23日（月）に長岡聾学校小出分教室の高橋登様を講師として招聘し、「難聴児童への指導の仕方」をテーマにして職員研修を行った。  
10月8日（金）に、4～6年生を対象に、「あすチャレ！スクール」を行った。講師としてパラリンピック男子車いすバスケットボール元日本代表の神保康広様を講師として招き、児童・職員による車いすバスケットボール体験や講師の講話を行った。

工夫した点

難聴児童の困り感をもとに、普段の生活の中で注意すること、指導の仕方について具体的に学ぶことができた。  
感染症対策により、4～6年生の講話となったが、距離を保つために、1、2、3年生もギャラリーから車椅子バスケットの実演を見るなど、実際の車椅子バスケット選手の姿を見ることができた。

他教科との  
関連

社会科において、基本的人権について学習した。

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

新潟県

学校名

南魚沼市立北辰小学校

人権課題

同和問題

対象学年・  
取り扱った教科等

全学年

目標・人権教育のねらい

同和教育学習資料集「生きる」を活用して、同和問題についての正しい認識と確かな人権感覚を身に付ける。  
教職員が、同和問題への理解と認識を深め、実践への意欲や指導力の向上を図ることができる。

実施した内容

9月6日（月）十日町みなと法律事務所の弁護士、関雅夫様を講師として招聘し、「いじめ防止対策推進法の要点」について職員研修を行った。  
11月22日（月）部落開放同盟新潟県執行委員長の長谷川均様を講師として招聘し「人権教育、同和教育研修会」を行い、講話をいただいた。  
12月3日（金）全学級において人権教育と関連の深い道徳科授業を授業参観日に合わせて公開した。

工夫した点

具体的な法律をもとにして、いじめの定義や学校としての義務、具体的な重大事案について学ぶことができた。  
部落開放同盟新潟県執行委員長の講話から、差別の現実・実態について学ぶことができた。  
参観日に人権教育、同和教育について授業を行い、保護者と一緒に考える授業実践を行った。

他教科との  
関連

特別の教科道徳で、同和問題について学習した。  
社会科の歴史で、身分制度、差別された人を学習した。

## 令和3年度 人権教育研究推進事業 &lt;人権教育研究指定校事業&gt;

都道府県・  
指定都市名

新潟県

学校名

南魚沼市立北辰小学校

人権課題

インターネットによる人権侵害

対象学年・  
取り扱った教科等

全学年

目標・人権教育のねらい

パソコン、スマートフォン、ゲーム機等を利用したインターネットによる人権侵害等の課題について理解し、人権を尊重した適切な表現について考えを深める。  
トラブルに巻き込まれたり、人権侵害の被害者や加害者となったりしないための判断力を身に付けさせる。

実施した内容

全校一斉実施で、パソコン、スマートフォン、ゲーム機等を利用したインターネットによる人権侵害等の課題について考え、互いの人権を尊重した行動をとるにはどうするか考えた。

工夫した点

子供がイメージを持ちやすいように動画を精選し、インターネットによる人権侵害について考えさせた。  
元気アップ週間、家庭学習強調週間に全学年で取り組み、家庭との連携や啓発を図った。

他教科との  
関連

社会科において、情報ネットワークの広がり方について学習した。